

完全な状態のバックアップからのUCS Centralのリカバリ

内容

[はじめに](#)

[フルステートバックアップからのUCS Central\(UCSC\)の復元が必要なシナリオ](#)

[UCS Centralを復元する手順](#)

- [1. UCS Centralマシンの実行からバックアップをキャプチャします。](#)
 - [\(a\) \[ツール\]メニューから\[バックアップと復元\]オプションを選択します。](#)
 - [\(b\) Backupオプションを選択します。](#)
 - [\(c\) バックアップファイルを作成します。](#)
 - [2. クライアントツール\(FileZilla\)を使用して、バックアップファイルをダウンロードし、ローカルFTPサーバにコピーします。](#)
 - [3. シスコソフトウェアダウンロードサイトからUCS Centralの仮想アプライアンスイメージ\(OVA\)をダウンロードします。](#)
 - [4. OVAを仮想マシンまたはベアメタルホストとして任意のハイパーバイザホストにインストールします。](#)
 - [5. KVMコンソールからVMにアクセスし、復元操作を選択します。](#)
 - [6. バックアップファイルを転送するためのFTPクレデンシャルおよびファイルパスとともに、ネットワーククレデンシャルを入力します。](#)
 - [7. マシンが起動すると、パスワードオプションとともに、バックアップファイルからのネットワーククレデンシャルが表示されます。](#)
 - [8. コマンドオプションを使用して、コンソールからネットワーククレデンシャルを再割り当てし、UCS CentralのGUIアクセスを取得します。](#)
 - [9. UCSC GUIは、割り当てられたIPアドレスを使用してアクセス可能であり、ソースマシンの正確な障害状態の要約を反映している必要があります。](#)
-

はじめに

このドキュメントでは、UCS Centralマシンのフルステートバックアップを実行して新しいマシンで回復するために必要なシナリオと手順の概要を説明します。

フルステートバックアップからのUCS Central(UCSC)の復元が必要なシナリオ

- 実稼働UCS Centralのラボ再現：実稼働UCS Centralセットアップ用にラボ環境を再作成する必要がある場合。
- ディザスタリカバリ(DR)：ディザスタリカバリシナリオの場合、バックアップからの復元が必要です。
- サポートされていない直接アップグレードパス：ターゲットバージョンのアップグレードが現在のバージョンから直接サポートされていない場合(例：以前のリリースからCisco UCS Centralリリース2.1(1a)への直接アップグレードパスがない場合)。

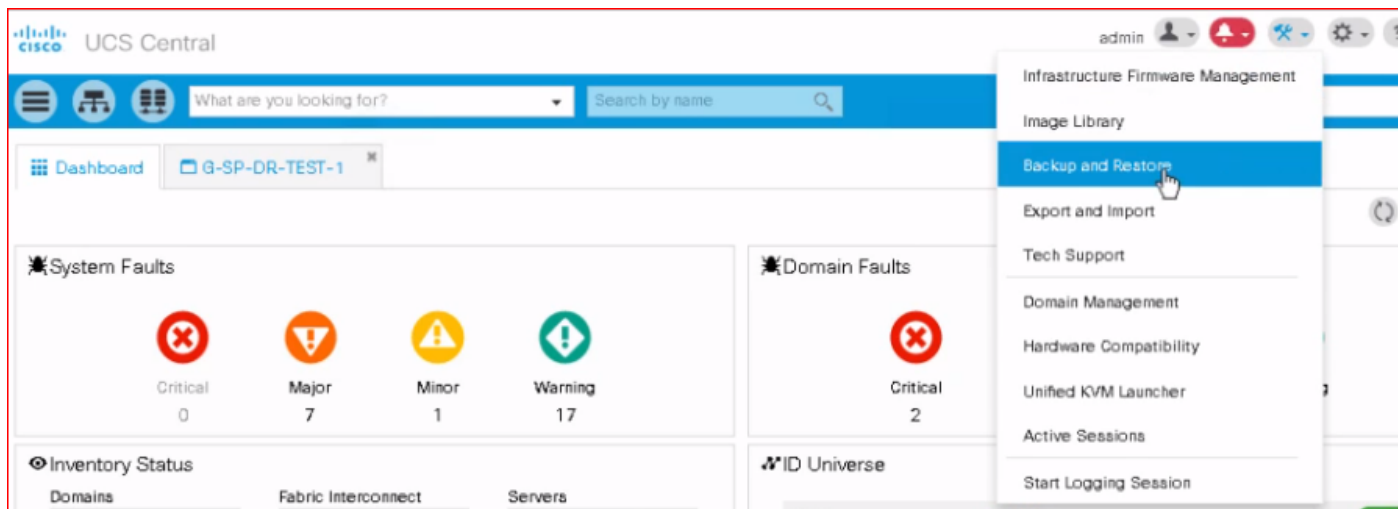


注: Cisco UCS Centralリリース2.1(1a)へのバックアップ復元は、バージョン2.0(1s)以降でサポートされています。

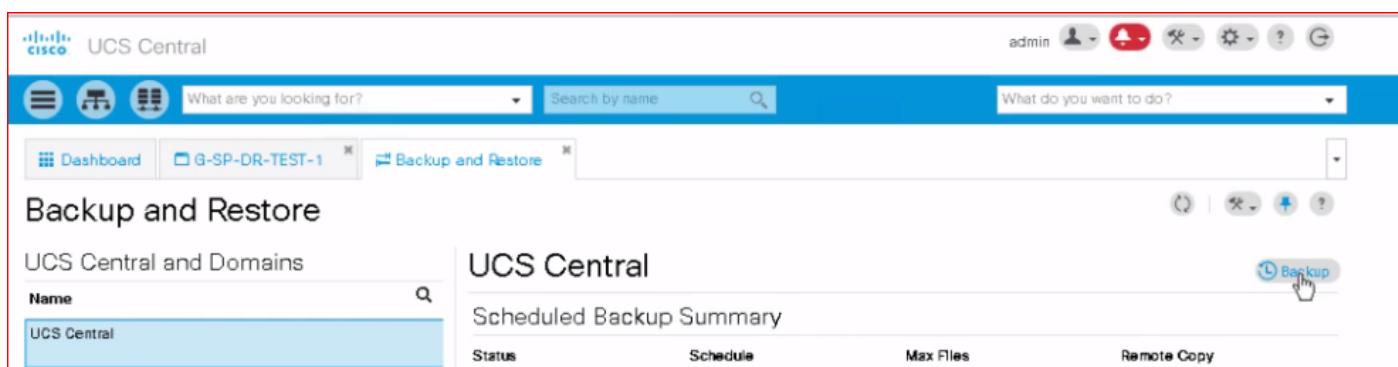
UCS Centralを復元する手順

1. 実行中のUCS Centralマシンからバックアップをキャプチャします。

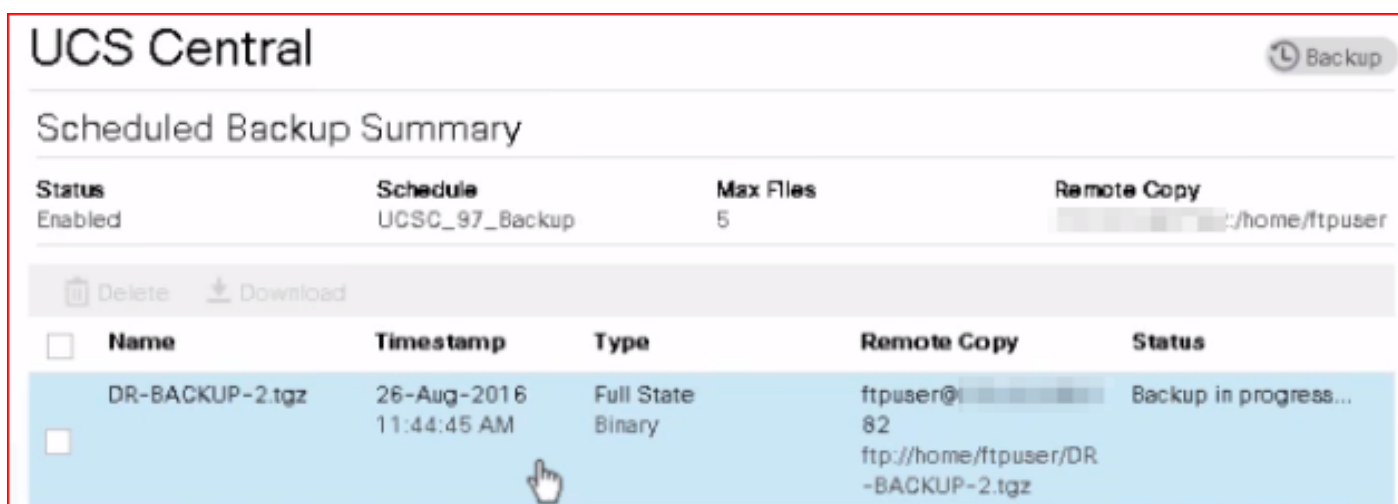
(a) [ツール]メニューから[バックアップと復元]オプションを選択します。



(b) Backupオプションを選択します。

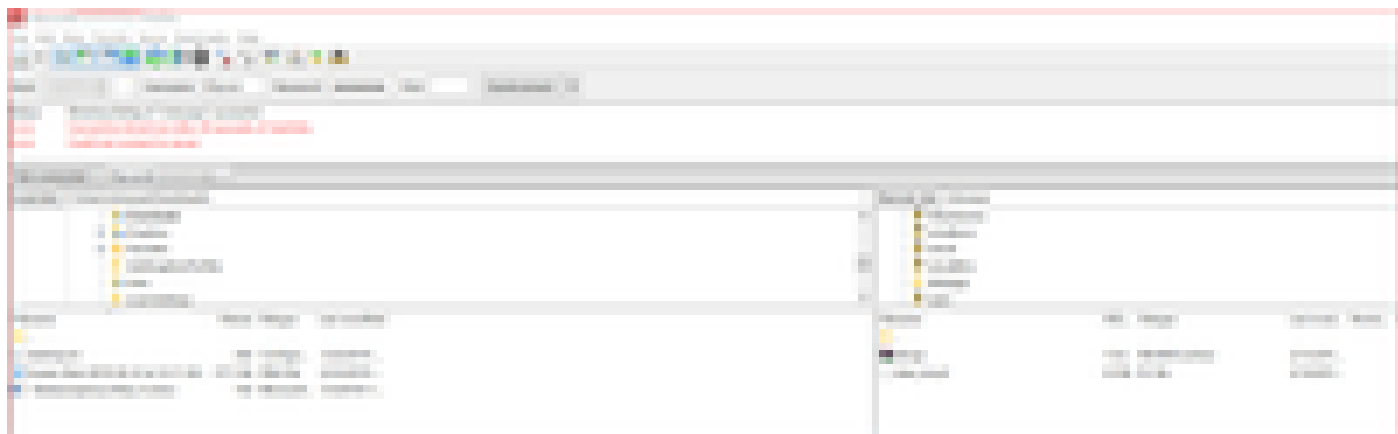
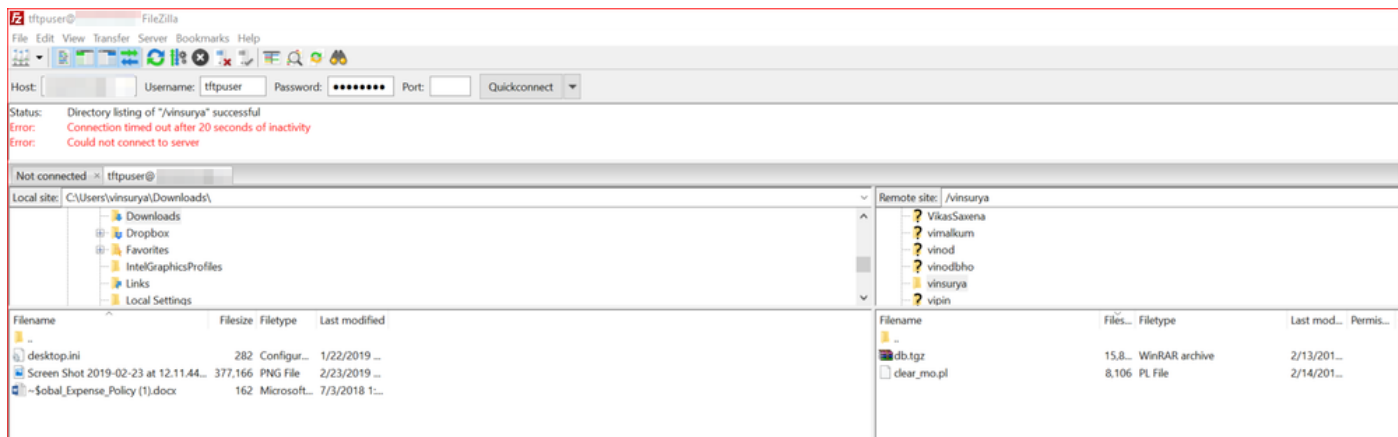


(c) バックアップファイルを作成します。



2. クライアントツール(FileZilla)を使用して、バックアップファイルをダウンロードし、ローカルFTPサーバにコピーします。

[FTPへのリモートコピーが設定されていない場合に適用]



3. [シスコソフトウェアダウンロードサイト](#)からUCS Centralの仮想アプライアンスイメージ(OVA)をダウンロードします。

Downloads Home / Servers - Unified Computing / UCS Central Software / UCS Central 2.x / Unified Computing System (UCS) Central Software- 2.1(1a)

Expand All
Collapse All

Latest Release

2.1(1a)
2.0(1w)

All Release

2.1
2.1(1a)
2.0

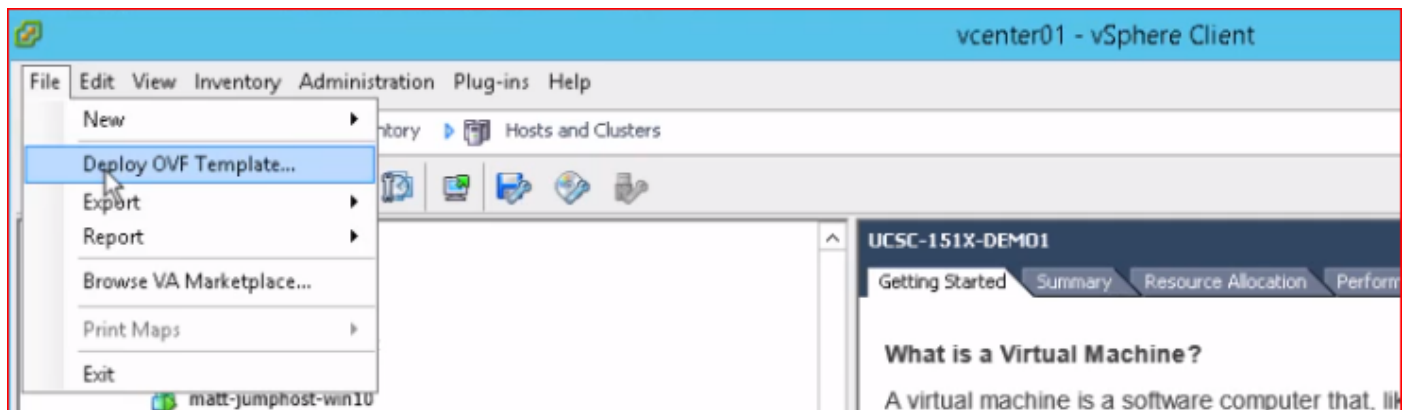
UCS Central 2.x

Release 2.1(1a)

[My Notifications](#)
[Release Note for 2.1\(1a\)](#)

File Information	Release Date	Size
Cisco UCS Central ISO Installer ucs-central.2.1.1a.iso Advisories	12-May-2025	4060.61 MB
Cisco UCS Central Virtual Appliance ucs-central.2.1.1a.ova Advisories	12-May-2025	2770.14 MB

4. OVAを仮想マシンとしてハイパーバイザホストまたはベアメタルホストにインストールします。



5. KVMコンソールからVMにアクセスし、復元操作を選択します。

```

UM communication interface: [ OK ]
UM communication interface socket family: [ OK ]
Guest operating system daemon: [ OK ]

Starting system message bus: [ OK ]
Starting monitoring for UG VolGroup00: 2 logical volume(s) in volume group "VolGroup00" monitored [ OK ]
Starting monitoring for UG VolGroup01: 1 logical volume(s) in volume group "VolGroup01" monitored [ OK ]

Starting snmpd: [ OK ]
Starting sshd: [ OK ]
Starting xinetd: [ OK ]
Starting pmon: [ OK ]
Starting postgresql service: [ OK ]
Starting console mouse services: [ OK ]
Starting crond: [ OK ]
Shutting down pmon: [ OK ]
Validating the installation medium's disk (/dev/mapper/VolGroup01-LogVol00) speed
Average disk read speed measured: 221
Disk speed validation - Succeeded
Setup new configuration or restore full-state configuration from backup[setup/restore] - restore_

```

6. ネットワーククレデンシャルと、バックアップファイルを転送するためのFTPクレデンシャルおよびファイルパスを指定します。

```
Setup new configuration or restore full-state configuration from backup[setup/restore] - restore
```

```
Enter the UCS Central VM eth0 IPv4 Address : ██████████
```

```
Enter the UCS Central VM eth0 IPv4 Netmask : 255.255.252.0
```

```
Enter the VM IPv4 Default Gateway : ██████████
```

Restore operation can be done on a standalone system or the first node of a cluster. It is not required on the second node of the cluster.

```
Enter the File copy protocol[tftp/scp/ftp/sftp] : ftp
```

```
Enter the Backup server IPv4 Address : ██████████
```

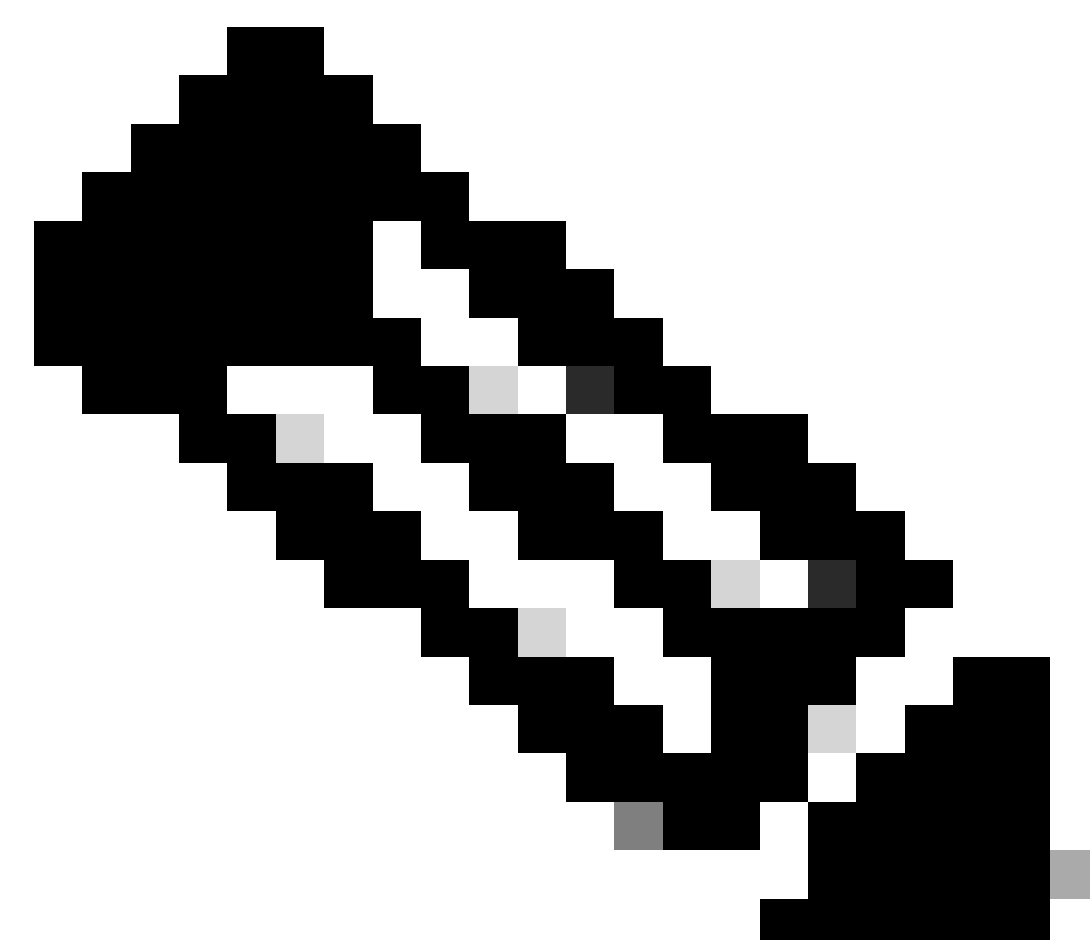
```
Enter the Backup file path and name : DR-BACKUP-2.tgz
```

```
Enter the Username to be used for backup file transfer : ftpuser
```

```
Enter the Password to be used for backup file transfer :
```

```
Proceed with this configuration? Please confirm[yes/no] - yes
```

—



注：2.0(1u)以降のUCSCバージョンでは、バックアップ復元操作にはbackupファイルの

復号化キーが必須です。

UCS Centralで「**Password Encryption Key**」が設定されていることを確認します。このキーは、復元プロセス中にバックアップファイルを復号化するために必要です。

UCS Central Local Users Manage

Password
Profile

Roles

Locales

Local Users

Remote Users

Password
Encryption Key

Password Encryption Key

Password Encryption Key

Confirm Password Encryption Key

Password Encryption Key Set:: **Yes**

7. マシンが起動すると、パスワードオプションとともに、バックアップファイルからのネットワーククレデンシャルが表示されます。

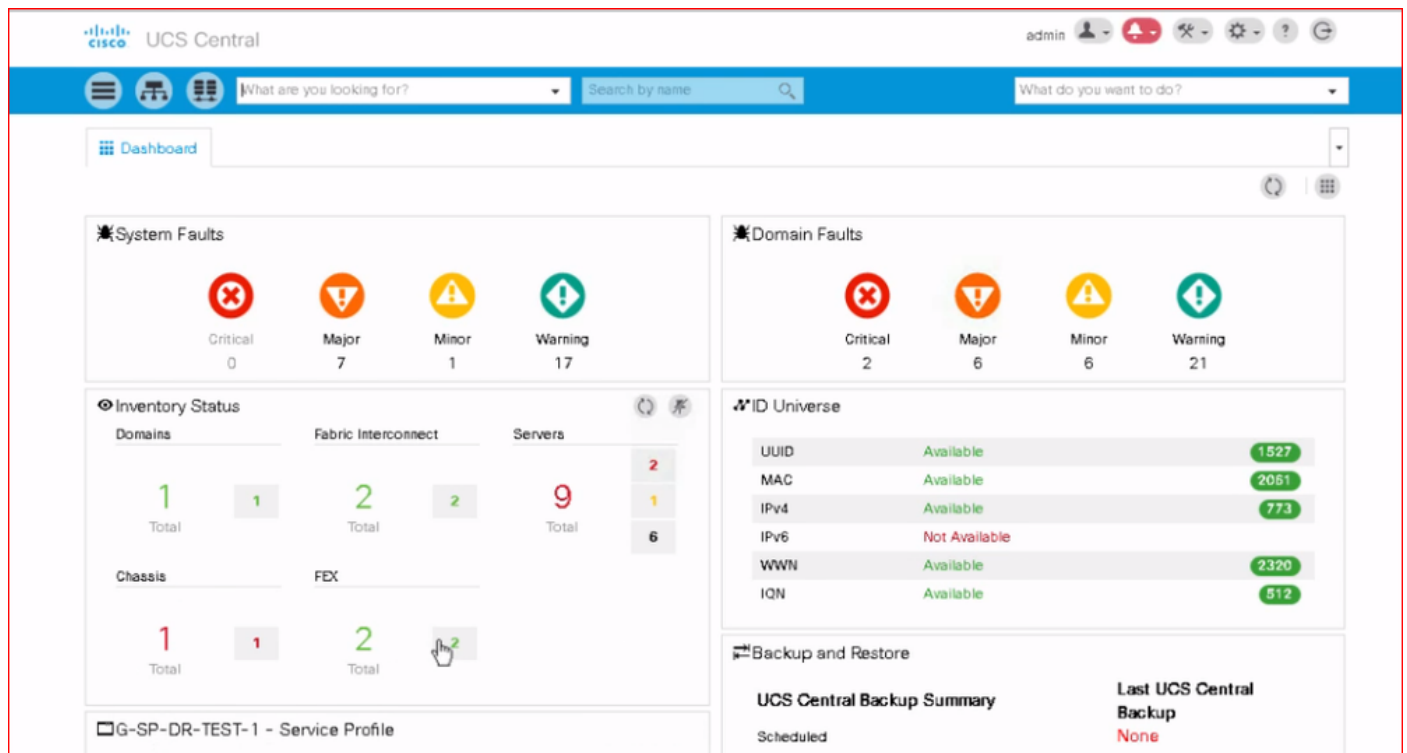
```
Cisco UCS Central
UCSC-151-DR login: _
```

8. コマンドオプションを使用して、コンソールからネットワーククレデンシャルを再割り当てし、UCS CentralのGUIアクセスを取得します。

[手順は、新しいIP設定（手順6から）が送信元UCSCマシンのIPと異なる場合に適用されます。

手順、ガイドライン、および推奨事項を参照してください。 - [Cisco UCS CentralのIPアドレスの変更](#)

9. UCSC GUIは、割り当てられたIPアドレスを使用してアクセス可能であり、ソースマシンの正確な障害状態の要約を反映している必要があります。



翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。